

警察署協議会議事概要	
協議会名	神奈川県小田原警察署協議会
日 時	令和5年12月6日（水）午後2時から午後3時50分までの間
場 所	神奈川県小田原警察署
出席者	<div>1 警察署協議会側 会長 夏目芳夫、副会長 田村正美、副会長 小澤摂子、委員 石塚達義、委員 川口博三、委員 秋山実、委員 中島良光、委員 小林美由紀、委員 中山智子、委員山本博文 計10人</div> <div>2 警察署側 警察署長 正野正樹、副署長 山崎孝幸、会計担当次長 山田勝康、刑事担当次長 田中大輔、交通担当次長 赤間信之、地域担当次長 庭田慎也、調査官 鈴木晴美、生活安全課長 本郷大介、警備課長 風巻和弘 計9人</div>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	前回諮問「電動キックボードの総合的な交通対策」について 1 電動キックボードの普及にあたり、ルールとマナー教育をポスター等を活用して学校やPTA、自治会等で広報してもらいたい。 2 駐輪場を確保してもらいたい。 3 正しい乗車方法について普及してもらいたい。 との答申を受けて 1 「学校向けの広報」については、管内の全中学校、高校に当署作成のポスターの掲示をお願いした。 警察庁が作成した「ルール守れてる？」とのチラシを交通安全講話、高校での学年集会で利用し、今後、交通安全講話、危険疑似体験型交通安全教育を実施する際に利用する。 自治会に対しては、それぞれの地域の交通安全教室において、新しい乗り物として説明した。 引き続き、各地域での交通安全教室において広報していく。 2 「駐輪場を確保してもらいたい」については、6月に行われた自治体の自転車駐車場指定候補者選定委員会において駐輪場管理者に駐車施設の整備について働きかけを行った。 今後も駐輪場増設の申し入れを行っていく。 3 「正しい乗車方法について普及してもらいたい」については、電動キックボード関係業者とタイアップした講習会を積極的に行っていく。 などを説明した。
	諮問
	「架空請求詐欺の被害防止方策」について
	答申

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 コンビニの店長やアルバイト店員に対し架空請求の研修等をして欲しい。</li><li>2 携帯電話購入時やコンビニでプリペイドカードの購入時に販売者から架空請求のパンフレットを貼ってもらうなどし、手口の説明をして欲しい。</li><li>3 公共放送などで詐欺の注意等の放送を時々行ってもらいたい。</li><li>4 民生委員や老人会等の会合で詐欺の教室を開催し、引き続き広報をしてもらいたい。</li></ol> |
|---|

業務説明
------

令和5年8月から10月までの業務推進状況及び令和5年12月から令和6年2月までの業務推進重点について説明した。
---

協議会からの要望・意見等
なし